

ナレッジ×AIによる 納入図面チェックの自動化と品質向上

産業機器メーカー K社様

利用部門：技術開発部

対象業務： 製品の納入図面作成業務

導入前の課題

目視チェックの負担と属人化

新規図面と過去の類似図面を目視で比較する作業に多くの時間がかかり、担当者の経験に大きく依存していた。その結果、特定の担当者に負担が集中し、作業が属人化しやすい状況になっていた。

ミスの発生と信用リスク

目視でのチェックにより、新人・ベテランを問わず見落としが発生していた。手戻りで工数が増えるだけでなく、誤った図面を顧客へ提出してしまう恐れがあり、常に信用リスクを抱えていた。

生産性の頭打ち

反復的な確認作業に多くの時間を取られ、本来注力すべき設計業務に十分なリソースを割けない状況が続いていた。その結果、部署全体の生産性向上の妨げとなっていた。

品質目標の未達成リスク

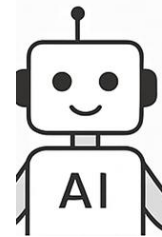
会社として掲げていた「ミス3%以内」という品質目標の達成が難しく、品質管理上のリスクが生じていた。

解決ポイント

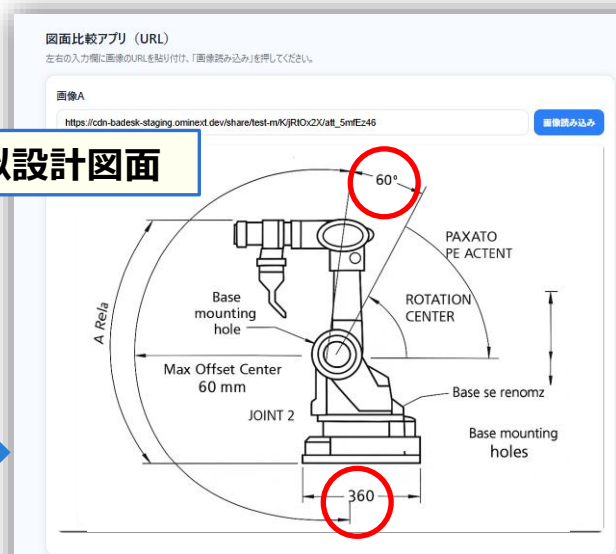
AIが図面内の項目と値を読み取り「どこが違うか」を自動で比較



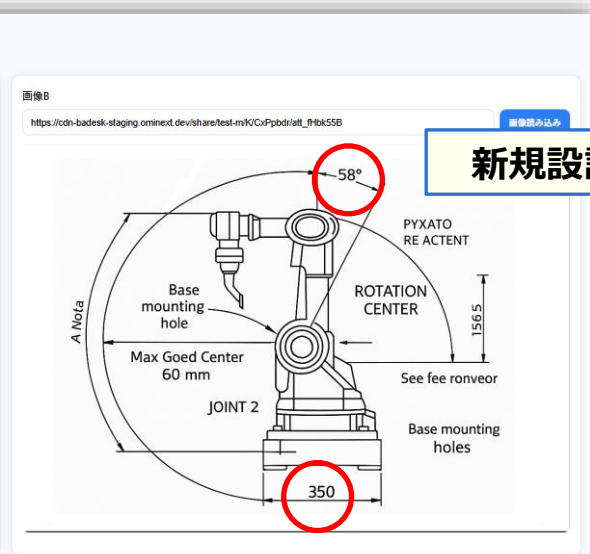
AIへのプロンプト：
新規図面と既存図面を
比較する観点を指定



過去の類似設計図面



新規設計図面



図面比較

画像を確認し、設計図面の数値/パラメータの違いを表形式でまとめます。

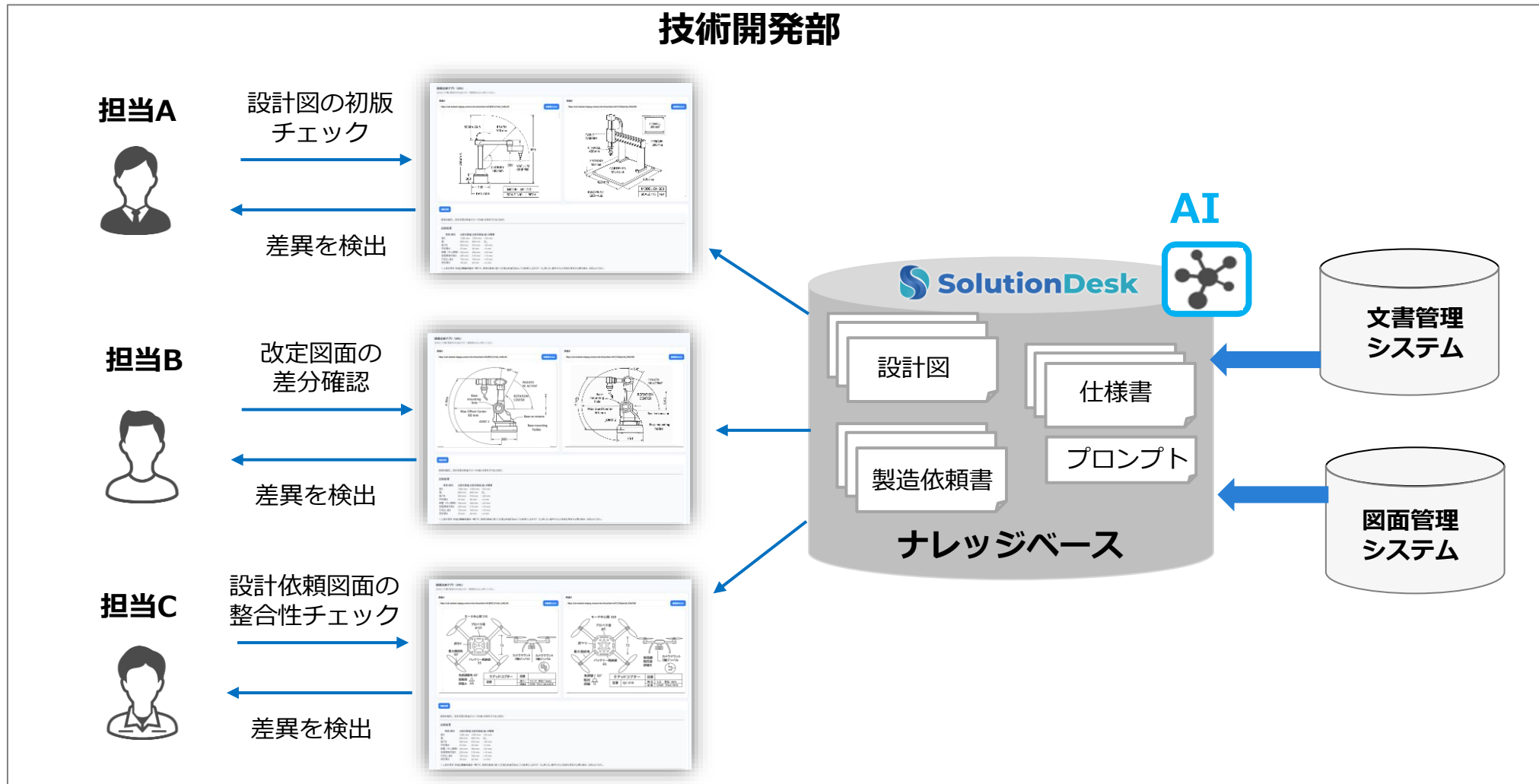
項目/部位	比較元数値	比較先数値	違いの概要
高さ	1200 mm	1250 mm	+50 mm
幅	600 mm	600 mm	なし
奥行き	450 mm	470 mm	+20 mm
天板厚み	25 mm	30 mm	+5 mm
脚間（中心間隔）	540 mm	560 mm	+20 mm
前面補強材高さ	200 mm	210 mm	+10 mm
引き出し高さ	150 mm	160 mm	+10 mm
側板厚み	18 mm	20 mm	+2 mm

※上記の項目・数値は画像内容の一例です。実際の画像に基づき正確な数値を抽出して比較表にしますので、もし表にない箇所やさらに詳細な項目が必要な場合、お知らせください。

違いや抜け漏れを抽出

新規図面と過去の類似設計図面をAIが比較

SolutionDesk 活用イメージ



導入効果

チェック品質向上

AIによる網羅的なチェックで、チェックミスや確認漏れが大幅に減少。

業務効率化とコスト削減

チェック作業にかかるコストを削減、担当者はより付加価値の高い業務へ集中できるように。

顧客信用の維持・向上

納品物の品質を安定させることで、顧客からの信頼を維持・向上。

将来の成長に向けたDX基盤の構築

本プロジェクトの成功がAI活用を他部門へ展開する上での重要な実績・ノウハウとなり、全社DX推進の第一歩に。



掲載されている会社名、製品名、サービス名、ロゴマークなどは、該当する企業もしくは組織の商標または登録商標です。

©Accela Technology Corp. 本サービスには、当社が取得した特許（第5993848号、第7761291号）の技術を使用しています。